

公開シンポジウム

〈ギャラクシー賞受賞「報道活動」を見て、制作者と語る会〉開催！

- 日時 2011年11月19日(土)13:00~17:00(開場 12:30)
- 場所 上智大学 9号館 249教室
- 主催 放送批評懇談会ギャラクシー賞報道活動部門委員会
- 共催 上智大学文学部新聞学科
- 参加自由／申込不要(資料費 500円)

ギャラクシー賞「報道活動部門」とは、番組枠を超えたキャンペーン報道、複数局による報道、単体の番組では完結しないスクープ報道活動などを審査の対象としています。

日本を代表するこれらの報道活動は、全国各地で長期間にわたって放送されたものですが、放送エリア外では、視聴する機会がほとんどありません。これらを一挙に上映することは、テレビ報道を考えるうえで欠かせないと思います。また、報道活動に携わった放送局の担当者を招き、その活動を評価した選奨委員、報道活動に関心を寄せる視聴者・研究者などが一堂に会して、報道について議論することは、報道の現状や課題を明らかにし、日本の放送にとって大きな意義があると考えております。

ぜひ、ご参加ください。

上映作品&参加放送局：

- 〈大賞〉 札幌テレビ放送 「がん患者、お金との闘い」
2007年~2011年 一連の報道
- 〈優秀賞〉 宮崎放送 口蹄疫発生から終息宣言までの一連報道
- 〈優秀賞〉 琉球朝日放送 ステーションQ年間企画
「オキナワ1945 島は戦場だった」
- 〈選奨〉 テレビ金沢 壁画修復から見つめた
幻の画家アーニョロ・ガッディにおける一連の放送活動
- 〈選奨〉 東海テレビ放送 報道キャンペーン
「堀川のキセキ~人・街・川」
- 〈選奨〉 日本放送協会 NHK「北方領土プロジェクト」

〈会場へのアクセス〉

- 最寄駅 JR中央線、
東京メトロ丸ノ内線・南北線四ッ谷駅
- 麴町口・赤坂口から徒歩5分



〈問い合わせ〉

- 放送批評懇談会 03-5379-5521
(平日 10時~13時 / 14時~18時)